

特定保健指導の電子的なデータ標準様式
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）
仕様説明書
Version 2

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 2.0
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2012.10.10

目次

1. はじめに	1
1.1 目的.....	1
1.2 参考資料.....	1
2. 概要	2
2.1 本文書の位置付け.....	2
本文書と既存の仕様説明書との相違点.....	2
2.2 記載内容の優先度.....	2
2.3 標準フォーマットの基本的な方針.....	3
2.3.1 1保健指導1ファイル.....	3
2.3.2 本標準フォーマットが対象とする保健指導情報.....	3
2.3.3 HL 7 CDA規格との関係.....	3
3. 特定保健指導情報ファイル仕様	4
3.1 全体構成の概要.....	4
3.2 ヘッダ部.....	5
3.2.1 名前空間.....	5
3.2.2 CDA 管理情報.....	6
3.2.3 保健指導管理情報.....	6
3.3 ボディ部.....	11
3.3.1 保健指導報告区分と CDA セクションの関係.....	14
3.3.2 指導共通情報セクション.....	14
3.3.3 指導初回情報セクション.....	18
3.3.4 指導集計情報セクション.....	25
3.3.5 委託先情報セクション.....	30
3.3.6 最終評価情報セクション.....	35
4. OID 表	40

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 2.0
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2012.10.10

修正履歴

日付	版	修正内容
2008.07.10	V1.0	初版
2009.03.30	V2	<p>■XML仕様上に関する修正</p> <p>本仕様書の適用範囲を追記。</p> <p><利用券情報の必須化></p> <p>本仕様変更は、利用券を発行せず特定保健指導を実施する場合、特定健康診査と特定保健指導を対応付ける情報がファイル仕様上に存在ため、どの年度の特定健康診査に基づく特定保健指導であるかが不明確となる問題点が存在する。特定保健指導の基となる特定健康診査の実施年度を明らかにするために、保険者から支払基金への実績報告時に、利用券情報を必須化し、利用券整理番号の先頭2桁で基となる特定健康診査の年度を識別できるように変更する。</p> <p>保険者が特定保健指導実施機関に特定保健指導情報ファイルに格納すべき利用券整理番号を指定することができる。また、保険者において支払基金への実績報告時に利用券整理番号の振り直しを実施することもできる。</p> <p>仕様書上の修正・追加箇所 <ul style="list-style-type: none"> •3.2.3.4 受診券・利用券情報 </p> <p><積極的支援における支援Bの任意化></p> <p>積極的支援において、支援Bの実施を任意とする。</p> <p>仕様書上の修正・追加箇所 <ul style="list-style-type: none"> •3.3.4.1 セクション部仕様 </p> <p>■XML仕様上に関係のない修正</p> <p>※特定保健指導情報ファイル仕様書（医療保険者への提出用）におけるV2への改訂にあわせた改訂。 ※仕様に変更はないが上記仕様書のバージョン番号をあわせるためバージョン2に番号を更新。</p> <p>今回の改修項目を列挙して記載する。[k1]</p>

本仕様書の適用範囲

本仕様書（Version2）は、平成25年度4月1日以降に実施される特定健康診査に基づいて実施される特定保健指導の、特定保健指導情報ファイルに対して適用される。（平成24年度の特定健康診査に基づく

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 2.0
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2012.10.10

特定保健指導を、平成 25 年 4 月 1 日以降に実施したとしても、本仕様書（Version2）は適用されない。）

[m2]特定保健指導		
特定保健指導の 実施の基となる特定健康診査	平成 25 年 3 月 31 日 以前に実施	平成 25 年 4 月 1 日 以降に実施
平成 25 年 3 月 31 日以前に実施	旧仕様書	旧仕様書
平成 25 年 4 月 1 日以降に実施		新仕様書

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 2.0
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2012.10.10

特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用） 仕様説明書

1. はじめに

1.1 目的

本文書の目的は、「保険者が社会保険診療報酬支払基金に提出する特定健康診査等の実施状況に関する結果について」（平成20年7月10日厚生労働省保険局長通知）において報告対象とされている「提出対象となる特定健診・特定保健指導情報ファイル」のうち「特定保健指導の実施状況に関する結果」について、その電子的な記述仕様を説明するものである。

保険者は、本仕様に準拠したデータを作成し、報告を行わねばならない。[k3]

1.2 参考資料

下記の表は、この文書で参照している標準仕様及び研究報告書等の名称、バージョン、並びにその説明の一覧である。

表1 参考資料

本文書での仕様等の引用名称	バージョン	説明
厚生労働省 特定健診プログラム確定版	2012年10月以降	標準的な健診・保健指導プログラム http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/seikatsu/index.html [m4]
厚生労働省 特定健診プログラム手引書	2012年10月以降	「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き」 http://www.mhlw.go.jp/bunya/shakaihosho/iryouseido01/info03d.html
健診実績報告仕様書	2	本文書と対になる文書で、特定健診情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様について解説した文書。
XML用保健指導項目コード表		保健指導報告に関する「XML用保健指導項目コード表」
HL7 Version 3	Normative 2005	HL7 Version 3の2005年度規範版パッケージ。CDA Release 2.0の規格書が含まれる。
日本 HL7 協会 診療情報提供書	1.0	日本 HL7 協会が策定した、CDA R2規格をベースとした診療情報提供書の規格。 http://www.hl7.jp/intro/std/HL7J-CDA-001.pdf
HL7 CRS	final draft	米国 HL7 協会が策定中の診療文書に関する実装ガイド。 Implementation Guide for CDA Release 2 – Level 1 and 2 – Care Record Summary (US realm), HL7, Inc., Final Text, June 8, 2006
XML	1.1	Extensible Markup Language http://www.w3.org/TR/2006/REC-xml11-20060816/
XPath	1.0	http://www.w3.org/TR/xpath
電子レセプト仕様書		「電子レセプトの作成手引き（医科）」社会保険診療報酬支払基金レセプト電算処理システム電子レセプト作成手引き http://www.ssk.or.jp/rezept/jiki_i/index.html

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 2.0
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2012.10.10

2. 概要

2.1 本文書の位置付け

本文書は、「保険者が社会保険診療報酬支払基金に提出する特定健康診査等の実施状況に関する結果について」（平成20年7月10日厚生労働省保険局長通知、以下では単に「本通知」と記載する）において報告対象とされている「提出対象となる特定健診・特定保健指導情報ファイル」のうち「特定保健指導の実施状況に関する結果」について、電子的なデータ標準様式（以下では特定保健指導標準フォーマット、または単に標準フォーマットと記載する）を定義するものである。

本文書で定義される特定保健指導情報の仕様は、「特定健診情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書」（以下、「健診実績報告仕様書」と記載する）の文書で定義される健診標準フォーマットの基本的な考え方と共通部分の仕様は同一であり、そちらの文書を参照する形で説明されており、本文書では保健指導に固有の部分についてのみ説明している。従って、本文書を読むに先立って必ず「健診実績報告仕様書」を読む必要がある。

本文書と既存の仕様説明書との相違点

本文書で説明される標準フォーマットは、すでに公表されている健診機関から保険者に特定健診の結果情報を報告するための仕様（「電磁的方法により作成された特定健康診査及び特定保健指導に関する記録の取扱いについて」（平成20年3月28日厚生労働省健康局長・厚生労働省保険局長通知（健発第0328024号・保発第0328003号））とともに公表されている「特定健康診査・特定保健指導の電子的な標準様式の仕様に関する資料」のうち、「特定保健指導情報ファイル仕様」（以下では「保険者への保健指導情報ファイル仕様説明書」と記載する）と基本的には同一である。

仕様上の異なる部分は、本通知では提出不要となった特定保健指導情報項目についてその仕様の削除、および報告項目が異なるための仕様変更である。仕様の削除の中には、これまで必須または任意に存在してよいとされていた情報が、存在してはいけない情報となった場合が含まれることに注意が必要である。

また本文書として「保険者への保健指導情報ファイル仕様説明書」と異なる部分は、1) 上記の仕様上の異なる部分を反映させている点、2) 実績報告としての位置づけから明らかに説明が不要となる部分の削除、3) 実績報告として必要となった情報に対応する仕様変更の3点である。なお、1) に関する削除箇所にはそれがわかるように当該箇所注釈等を記載している場合がある。

なお、本文書に対応するXMLスキーマファイルは、「保険者への保健指導情報ファイル仕様説明書」とともに公開されているXMLスキーマファイルと完全に同一であるため重複して公表をせず、後者を参照するものとする。提出不要となった特定保健指導情報項目を本仕様で削除したにもかかわらず、対応するXMLスキーマファイルに変更の必要がない理由は、これらの削除項目に対応する要素または属性はあらかじめ省略可能と定義されていたからである。

2.2 記載内容の優先度

この文書の記載内容と前項の厚生労働省通知との記述に相違がある場合には、前項の厚生労働省通知の記述を優先するものとする。

本文書と対をなして公表されているXMLスキーマファイルでは、XML要素や属性の出現多重度や選択性について、本文書での記載よりも緩い記述（制約条件が広い記述）になっていることがある。このような場合には、本文書に記載されている記述が優先するものとする。たとえばXMLスキーマでは1回以上何度出現してもよいとなっている要素について、本文書では1回だ

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 2.0
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2012.10.10

け必ず出現するものと記載しているケースでは、本文書に従うものとし、当該要素は1回だけ必ず出現しなければならず2回以上出現してはならない。同様にたとえばXMLスキーマでは出現してもしなくても良い（出現がオプション的）とされている属性や要素について、本文書では出現してもよいことが明示的に記載されていないケースでは、本文書に従うものとし、当該属性や当該要素は出現してはならない。

2.3 標準フォーマットの基本的な方針

2.3.1 1保健指導1ファイル

本標準フォーマットは、1人の保健指導利用者（以下、利用者）に対してなされた一連の保健指導の実施情報を、報告が義務付けられた報告単位（1報告）ごとに1つのXML形式で格納し、1個の電子ファイル（WindowsやUNIXなどのコンピュータオペレーティングシステムでひとつの電子ファイルとして扱われるファイル単位）とするものである。1報告にとって必要となるヘッダー情報（保健指導機関に関する情報や日付、受診者を識別するための情報など）が含まれている。

1人の受診者の1報告ごとに1電子ファイルとし、複数報告もしくは複数受診者の実施情報はその数だけの電子ファイルを別々に生成する方針をとっている。従って、1電子ファイルに、複数報告もしくは複数受診者の実施情報を格納することはできない。

2.3.2 本標準フォーマットが対象とする保健指導情報

本標準フォーマットは、「保険者が社会保険診療報酬支払基金に提出する特定健康診査等の実施状況に関する結果について」（平成20年7月10日厚生労働省保険局長通知、以下では単に「本通知」と記載する）において報告対象とされている「提出対象となる特定健診・特定保健指導情報ファイル」のうち「特定保健指導の実施状況に関する結果」を格納することを目的としている。

2.3.3 HL7 CDA規格との関係

本標準フォーマットは、HL7 CDA Release 2（以下CDA R2）規格¹に完全準拠するものとし、本標準フォーマット仕様は、HL7 CDA規格で定義されるXMLスキーマに対して特定保健指導固有のさらなる制約を課すことで実現されている。

本仕様書では、XMLタグ仕様は、健診仕様書と同一の方法で説明している。

¹ ANSI/HL7 CDA R2-2005 4/21/2005 版

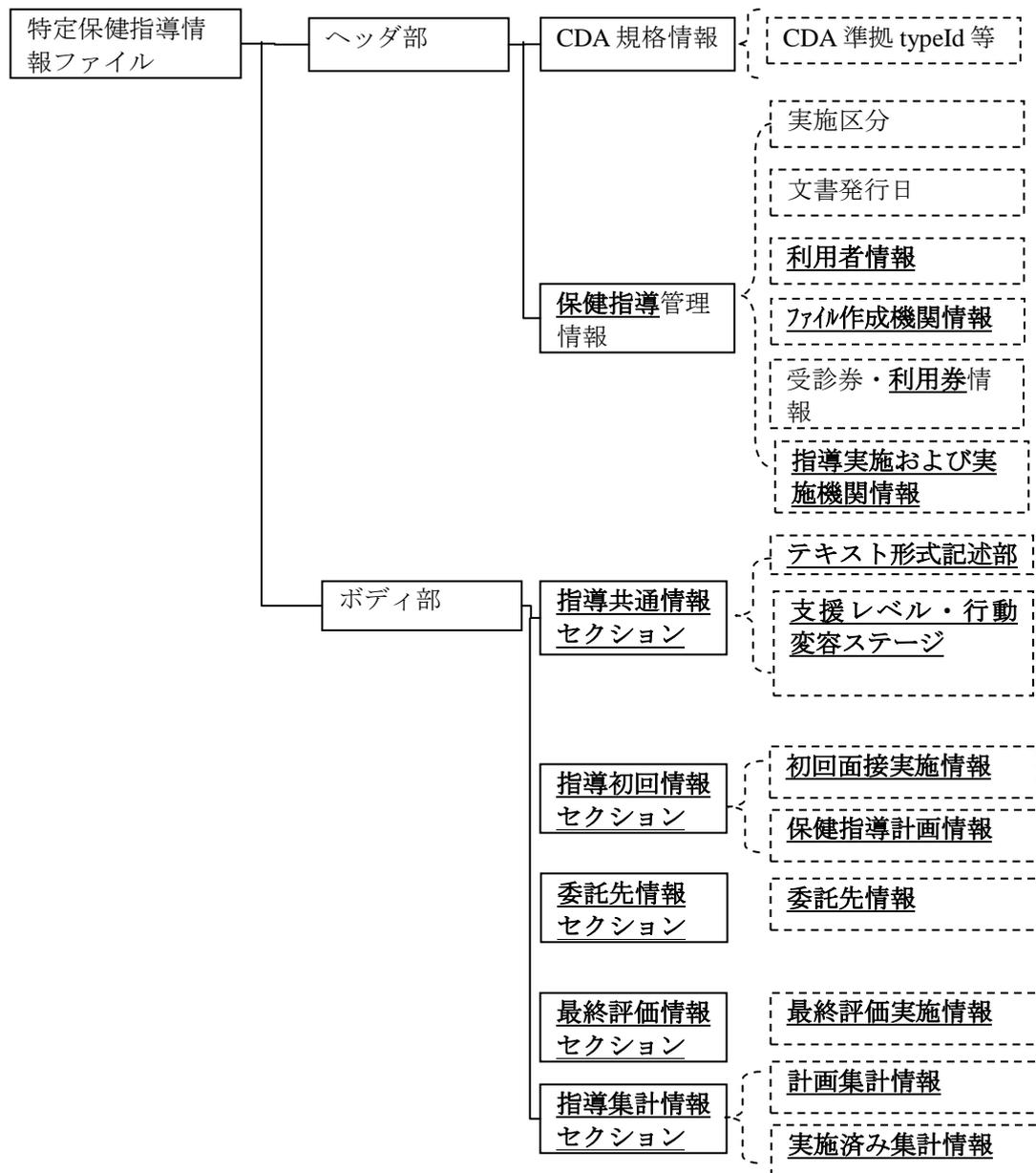
特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 2.0
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2012.10.10

3. 特定保健指導情報ファイル仕様

※図表中で「健診実績報告仕様書」との相違の主要部分は太字下線で示している。

3.1 全体構成の概要

本標準フォーマットにもとづく XML ファイルは、ヘッダ部とボディ部からなる（下図）。



ヘッダ部には、CDA規格上必要となるメッセージ種別などCDA規格情報、記録されているイベント（健診、指導など）に関する実施区分や文書発行日（特定保健指導情報ファイルの作

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 2.0
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2012.10.10

成日）情報、作成者情報、記録対象者（利用者）情報、**利用券情報**などの保健指導管理情報から構成される。

ボディ部には、**指導計画や指導実施に関する情報**が、一部は人間可読なテキスト形式で記述されるとともに、コンピュータ処理を可能とするための形式で構造化されて記述される。

3.2 ヘッダ部

3.2.1 名前空間

健診実績報告仕様書の当該部分と以下の部分を除き同一である。

当該部分を、健診実績報告仕様書と異なる部分に下線を引いて、以下に引用する。

==引用開始==

本仕様書で定義される XML インスタンスの名前空間は「urn :hl7-org :v3」とし、これをデフォルト名前空間として指定する。

また、本仕様書で定義される XML インスタンスでは、「http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance」という URI で識別される XML スキーマインスタンスの名前空間を使用する。

本仕様のスキーマファイルは「hg08_V08.xsd」というファイル名のファイルにより別途提供される。ここでこのファイル名中のV08はversion番号であり、今後スキーマファイルに大きな変更が加わる場合にはそれに伴って変更される可能性がある。下記はXMLインスタンスの実例であり、本仕様に基づくすべてのXMLインスタンスは、スキーマファイル名のversion番号部分を除きこの部分を変更してはならない。

補足説明1：本仕様でファイルを生成する側は、文字コードは UTF-8 を使用するものとする。

補足説明2：UTF-8 文字コードのファイルをコンピュータプログラムにより生成する場合に、ファイルの冒頭の（通常のテキスト表示では見えない最初の）3バイトに Byte Order Mark（BOM）と呼ばれる3バイト EF BB BF (16進)をつけるスタイルと、つけないスタイルの両方が世の中に存在する。本仕様でファイルを生成する側は、このBOMと呼ばれる3バイトを付与しないものとする。ソフトウェア開発者は、自分の使用するXMLファイル生成機能が自動的にBOMを付与するソフトかどうかを調べ、自動付与するスタイルのソフトウェアの場合には、生成されたファイルの第1バイト目からの先頭3バイトを削除することが必要である。どちらのソフトウェアであるかを調査するためには、テキスト表示ソフトでは通常表示されないので、冒頭の数バイトをプログラムで確認するなりして確認することが必要である。

一方、本仕様で生成されたファイルを受信する側では、生成側が誤ってBOMを付けたファイルを生成している可能性を想定し、BOMの有無にかかわらず正しく処理できるようにすることが必要である。

補足説明3：スキーマファイル名のversion番号部分はV08で統一する。下記の例で示すように、hg08_V08.xsdとするものとする。今後スキーマファイルが一部修正された場合においても、リリースされたスキーマファイル名を下図のようにバージョン番号部分をV08に名前を変更して使用するものとする。なお、将来の制度の改訂などにより、部分修正に留まらない大きな変更が加えられた場合には、これによらない場合がある。

なお、オペレーティングシステムによる違いの影響を排除するため、スキーマファイル名、その相対パス名の英大文字小文字の違いを意識するものとし、以下の通りとする。

スキーマファイル名を含む相対パス名： ../XSD/hg08_V08.xsd[k5]

注：ピリオド2個で始まっていることから分かるように、スキーマファイルが格納されるフォルダXSDは、本XMLファイルが格納されるフォルダ（ディレクトリ）の兄弟フォルダである。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 2.0
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2012.10.10

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
<ClinicalDocument xmlns="urn:hl7-org:v3"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  xsi:schemaLocation="urn:hl7-org:v3 ../XSD/hg08_V08.xsd">
  . . .
</ClinicalDocument>
```

==引用終了==

3.2.2 CDA管理情報

健診実績報告仕様書の当該部分と同一である。

3.2.3 保健指導管理情報

CDA管理情報の2つの要素につづく要素は、保健指導管理情報であり、表2に示される項目からなる。

表2 ヘッダ部の保健指導管理情報

No	XPath	説明	厚労省公表資料との対応	多重度	選択性
0	/ClinicalDocument			1..1	M
3	code	報告区分を表すコードを設定。		1..1	M
3.1	@code	10の桁は実施区分、1の桁は実施時点の各コードである。すなわち 22:すべて完了して国に保健指導実績を報告する場合 23:特定保健指導途中終了確定時に国に保健指導実績を報告する場合	10の桁は実施区分、1の桁は実施時点の各コード	1..1	M
3.2	@codeSystem	<u>健診実績報告仕様書の当該部分と同一仕様。</u> コードのコード体系を識別するOID。 「1.2.392.200119.6.1001」を設定。		1..1	M
3.3	@displayName	使用しない		0..1	O
4	effectiveTime	<u>健診実績報告仕様書の当該部分と同一仕様。</u> 本ファイルのオフィシャルなファイル作成日(実際のファイル作成日と異なることもあり)。この日付をもって本データを提出したことから取り扱う日。		1..1	M
4.1	@value	<u>健診実績報告仕様書の当該部分と同一仕様。</u> 「YYYYMMDD」。		1..1	M
5	confidentialityCode	<u>健診実績報告仕様書の当該部分と同一仕様。</u> 守秘レベルコード。HL7 ボキャブラリドメイン Confidentiality の値を使用。		1..1	M
5.1	@code	<u>健診実績報告仕様書の当該部分と同一仕様。</u> 守秘レベルコードのニーモニック。通常時の守秘レベルを表す「N」を設定。		1..1	M
5.2	@codeSystem	<u>健診実績報告仕様書の当該部分と同一仕様。</u> XML ファイルサイズを小さくするため当面使用しない。 使用する場合には守秘レベルコードのコード体系を識		0..1	O

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 2.0
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2012.10.10

		別するOID。「2.16.840.1.113883.5.25」固定。			
6	recordTarget	健診実績報告仕様書の当該部分と同一仕様。 利用者情報。 構造を含め詳細は、3.2.3.1節に記載。		1..1	M
7	author	健診実績報告仕様書の当該部分と同一仕様。 本ファイルを作成し提出する保険者側の情報（通常は送付元に相当する。構造を含め詳細は、3.2.3.2節に記載。		1..1	M
8	custodian	健診実績報告仕様書の当該部分と同一仕様。 本ファイル作成管理責任機関情報。本仕様では使用しないが HL7CDA 規格上必須であるため、0節のように記述するものとする。		1..1	M
9	participant	利用者の受診券と利用券 に関する情報。詳細は、節に記載。		0..2	O
10	documentationOf	保健指導実施情報。 詳細は、3.2.3.5節に記載。		1..1	M

ヘッダ部のサンプルは省略する。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 2.0
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2012.10.10

3.2.3.1 利用者情報

健診実績報告仕様書の当該部分と以下の点を除き同一仕様。

- ・「受診者」を「利用者」に読み替える。

3.2.3.2 ファイル作成機関の情報

健診実績報告仕様書の当該部分と以下の点を除き同一仕様。

- ・「健診」を「保健指導」に読み替える。

3.2.3.3 ファイル作成管理責任機関情報

健診実績報告仕様書の当該部分と同一仕様。

3.2.3.4 受診券・利用券情報

利用券整理番号と受診券整理番号の情報が記述される。そのため、/ClinicalDocument/participant要素が最大2回繰り返される。

受診券情報か利用券情報かの区別は、/ClinicalDocument/participant/functionCode/@codeで識別される。要素の出現順序ではない。受診券整理番号を空欄としたい場合にはそれを記述するための本要素/ClinicalDocument/participantは出現しない。

利用券整理番号は、利用券を発券しないで特定保健指導を実施した場合にも、以下のとおり記載する。したがって/ClinicalDocument /participant 要素の出現は、利用券整理番号だけ記述する場合には出現回数は1となる。

表 8 受診券情報へのマッピング項目

No	項目名	XML 仕様 No	XPath
	受診券整理番号	9.6.1	/ClinicalDocument/participant[functionCode/@code="1"] /associatedEntity/ id/@extension
	利用券整理番号	9.6.1	/ClinicalDocument/participant[functionCode/@code="2"] /associatedEntity/ id/@extension

受診券情報のXML仕様は、健診実績報告仕様書の当該部分と以下の点を除き同一であるが再掲する。

- ・「/ClinicalDocument/participant」を「/ClinicalDocument/participant[functionCode/@code="1"]」とする。

表 9 受診券情報の XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
9	participant[functionCode/@code="1"]		0..1	O
9.1	@typeCode	HL7 ポキャブラリドメイン ParticipationType から所有者を示す「HLD」を設定。	1..1	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 2.0
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2012.10.10

9.2	functionCode	受診券の情報であることを示す情報	1..1	M
9.2.1	@code	受診券券面種別コードを示す「1」を設定。	1..1	M
9.2.2	@codeSystem	受診券・利用券の券面種別コードのためのOID。「1.2.392.200119.6.208」を設定。	1..1	M
9.3	time	受診券の有効期間 要素が出現しない	0	X
9.5	associatedEntity	受診券と発行者の識別情報。	1..1	M
9.5.1	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン RoleClass から「IDENT」を設定。	1..1	M
9.6	associatedEntity/id	受診券整理番号	1..1	M
9.6.1	@extension	「 受診券整理番号 」に対応する文字列。数字11桁固定。	1..1	M
9.6.2	@root	本来は受診券整理番号のためのOIDを設定する属性であるが、本仕様では省略する(属性を出現させない)。 保健指導機関情報から受領するファイルにはOIDが設定されており、そのOIDには受診券を発行した保険者番号が含まれているため、OIDを削除することが必要である。 属性が出現しない	0	X
9.7	associatedEntity/scopingOrganization	受診券を発行した保険者の保険者情報 要素が出現しない	0	X

利用券情報のXML仕様は、表9の**受診券情報と以下の点を除き同一であるが**であるが再掲する。

- ・「受診券」を「利用券」に読み替える（下記表9-1では置き換え済み）。
- ・「券面種別コード」が1ではなく2となる。
- ・「健診」を「保健指導」に読み替える（下記表9-1では置き換え済み）。
- ・「/ClinicalDocument/ participant[functionCode/@code="1"]」を「/ClinicalDocument/ participant[functionCode/@code="2"]」とする。

表9-1 利用券情報のXML仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
9	participant[functionCode/@code="2"]	利用券整理番号は、利用券を発券しないで特定保健指導を実施した場合にも必ず出現させること	1..1[k6]	M
9.1	@typeCode	HL7 ボキャブラリドメイン ParticipationType から所有者を示す「HLD」を設定。	1..1	M
9.2	functionCode	利用券の情報であることを示す情報	1..1	M
9.2.1	@code	利用券券面種別コードを示す「2」を設定。	1..1	M
9.2.2	@codeSystem	受診券・利用券の券面種別コードのためのOID。「1.2.392.200119.6.208」を設定。	1..1	M
9.3	time	利用券の有効期間 要素が出現しない	0	X
9.5	associatedEntity	利用券と発行者の識別情報。	1..1	M
9.5.1	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン RoleClass から「IDENT」を設定。	1..1	M
9.6	associatedEntity/id	利用券整理番号	1..1	M
9.6.1	@extension	「 利用券整理番号 」に対応する文字列。数字11桁固定。	1..1	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 2.0
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2012.10.10

		年度(西暦下 2 桁*1)+種別(1 桁*2)+識別番号 (8 桁*3) *1 特定保健指導の基になった特定健診の実施年度を記載する。 *2 積極的支援の場合は「2」、動機づけ支援の場合は「3」を記載する。 *3 保健指導に利用券を交付していない場合は、8 桁を全て「0」として記載する。[k7]		
9.6.2	@root	本来は利用券整理番号のためのOIDを設定する属性であるが、本仕様では省略する。 <u>属性が出現しない</u> 保健指導機関情報から受領するファイルにはOIDが設定されており、そのOIDには利用券を発行した保険者番号が含まれているため、OIDを削除することが必要である。	0	X
9.7	associatedEntity/scopingOrganization	利用券を発行した保険者の保険者情報 <u>要素が出現しない</u>	0	X

受診券と利用券情報の XML サンプルを以下に示す。

```

<ClinicalDocument>
...
  <participant typeCode="HLD">
    <functionCode code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.208" />
    <associatedEntity classCode="IDENT">
      <!-- 受診券整理番号 -->
      <id extension="11123344551" />
    </associatedEntity>
  </participant>

  <participant typeCode="HLD">
    <functionCode code="2" codeSystem="1.2.392.200119.6.208" />
    <associatedEntity classCode="IDENT">
      <!-- 利用券整理番号 -->
      <id extension="11323344552" />
    </associatedEntity>
  </participant>
...
</ClinicalDocument>

```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 2.0
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2012.10.10

3.2.3.5 保健指導実施情報

健診実績報告仕様書の当該部分と以下の点を除き同一仕様。

- ・「健診」を「保健指導」に読み替える。
- ・「受診者」を「利用者」に読み替える。
- ・「実施日」もしくは「実施年月日」は保健指導の実施年月日として支払基金への実績報告書に記述すべき日付を厚生労働省通知に従い設定する。
- ・プログラムサービスコードとして
「/ClinicalDocument/documentationOf/serviceEvent/code/@code」には「100」を設定する。

3.3 ボディ部

※3.3節以降では、原則として健診実績報告仕様書とすべて異なるため、相違部分を太字または下線などの方法で示してない。

ボディ部には、特定保健指導の報告で定められた実施情報（計画情報を含む）が含まれ、指導共通情報、指導初回情報、最終評価情報、指導集計情報、委託先情報セクションの各セクションにおいて記録する。

各セクションは、そのセクションの内容を人が解釈することを目的として構造化テキストとして記述する説明ブロック（Narrative Block）と、セクション内容を機械可読なデータとして記述するエン트리（Entry）記述ブロックから構成される。

説明ブロックは、section 要素内の text 要素に HTML に類似するタグを使って記述されるが、text 要素にすべての項目の結果を記述するとそれだけでファイルサイズが非常に大きくなること、および必要ならエン트리記述ブロック中のデータから説明ブロックデータを機械的に生成可能であること、の2つの理由により、本仕様では text 要素には指導共通情報セクションにおいてのみ限定された少数の項目だけを記述するものとし、その他のセクションでは値を持たない空 text エレメントとする。

一方、エン트리記述ブロックは、section 要素の子要素となる entry 要素の繰り返しで記述する。section 要素は、セクションの種別を示すセクションコードを表す code 要素を、子要素として含まなければならない。各セクションのセクションコードを表 12 に示す。

セクションコード体系の OID は「1.2.392.200119.6.1010」である。

表 12 保健指導データ CDA セクションの種類とコード

セクションコード	セクション名	説明
90010	指導共通情報セクション	支援レベル・行動変容ステージ
90030	指導初回情報セクション	初回面接実施情報 継続的支援予定期間
90060	最終評価情報セクション	最終評価情報（6ヶ月評価情報）
90070	指導集計情報セクション	計画上の集計情報 実施済み集計情報
90080	委託先情報セクション	指導の委託先情報

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 2.0
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2012.10.10

ボディ部の XML 仕様を表 13 に示す。

表 13 ボディ部の XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11	/ClinicalDocument/component		1..1	M
11.1	structuredBody	構造化ボディ。	1..1	M
11.2	structuredBody/component	セクションへの包含関係情報。3.3.1 節で認識するように 1 個以上の要素が存在する。	1..*	M
11.3	structuredBody/component/section	セクション情報。詳細は 3.3.2～3.3.6 節。	1..1	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 2.0
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2012.10.10

以下に CDA ボディの XML サンプルを示す。各セクションの詳細は、3.3.2 節から 3.3.6 節にそれぞれ示す。

```

<ClinicalDocument>
...
<!-- 健診情報、保健指導情報-->
<component>
  <structuredBody>
    <component>
      <section>
        <!-- 指導共通情報セクション-->
      </section>
    </component>

    <component>
      <section>
        <!-- 指導初回情報セクション -->
      </section>
    </component>

    :

  </structuredBody>
</component>
</ClinicalDocument>

```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 2.0
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2012.10.10

3.3.1 保健指導報告区分とCDAセクションの関係

保健指導の報告時点の違いにより下記のようなセクションが組み合わされて使用される。それと対応する報告区分等との関係は表14のようになる。

表14 保健指導区分とセクションの必須関係

本表はセクションの必須か任意かを示すものであり、そのセクションに格納される個々の項目が必須か任意かについては、厚労省通知に従うこと。

使用されるセクション	保健指導情報（個票）項目番号	完了報告時 動機付け支援	完了報告時 積極的支援	途中終了確定時 動機付け支援	途中終了確定時 積極的支援
		報告区分 コード=22	報告区分 コード=22	報告区分 コード=23	報告区分 コード=23
指導共通情報	1001~1003	必須	必須	必須	必須
指導初回情報	1004~1009	必須	必須	必須	必須
委託先情報	1113~(1124)	不要	保健指導を委託して実施時には必須	不要	保健指導を委託して実施時には必須
最終評価情報	1068~1078	必須	必須	必須	必須
指導集計情報	1079~1094	不要	必須	不要	必須
	1095~1112	不要	必須	不要	必須

なお、XMLファイル内でのセクションの出現順序は任意である。

3.3.2 指導共通情報セクション

3.3.2.1 セクション部仕様

※ 本セクションは常に存在する。

指導共通情報セクションは、支援レベル（保健指導情報個票番号 1001、項目コード 1020000001）、行動変容ステージ（同 1002、項目コード 1020000002）の2つだけを格納するセクションである。人が解釈するための説明ブロックと、各項目に対応する機械可読表現である1個のentry要素を含む。セクションコードにはCDAセクションコードのうち「90010」を指定する。

指導共通情報セクションのXML仕様を表15に示す。

表15 指導共通情報セクションXML仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.3	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section		1..1	M
11.4	code	指導共通情報データCDAセクションコード。	1..1	M
11.4.1	@code	セクションコード「90010」を設定。	1..1	M
11.4.2	@codeSystem	セクションコードのコード体系を示すOID。「1.2.392.200119.6.1010」を設定。	1..1	M
11.4.3	@displayName	セクションコードの表示名。「指導共通情報セクション」を設定。	0..1	O

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 2.0
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2012.10.10

11.6	text	セクションのテキスト記述。	1..1	M
11.6.1	text()	セクションのテキスト記述。詳細は 3.3.2.2 節。	1..1	M
11.7	entry	指導共通情報セクションの機械可読表現。詳細は 3.3.2.3 節。	1..1	M

指導共通情報セクションの XML サンプルを以下に示す。

```

<section>
  <code code="90010" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010"
    displayName="指導共通情報セクション"/>
  <text>
    <!-- 指導共通情報セクション テキスト記述 (3.3.2.2 節) -->
  </text>
  <!-- 指導共通情報セクション 機械可読記述 (1 つの entry) -->
  <entry>
    ...
  </entry>
</section>

```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 2.0
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2012.10.10

3.3.2.2 テキスト部（説明ブロック）仕様

指導共通情報セクションの内容を人が解釈するための情報を記述する説明ブロックには、**list** 要素および **item** 要素を使用して、項目とその値を表現する。各項目に対して、1つの **item** 要素が対応する。**item** 要素のテキスト内容の書式は、

「項目名 値（表示用テキスト）」（項目名と値の間の空白は半角スペース）とする。

またなんらかの理由により値を設定できない場合は、「項目名」だけとする。

ファイルサイズをコンパクトにするため、説明ブロックに記述する項目は表 16 に掲げた項目だけに限定するものとする。またこれらについても任意である。まったく記述しなくてもよいがその場合でも text 要素は必須である。

表 16 指導共通情報項目説明ブロック仕様

No	項目名	値（表示用テキスト）
1001	支援レベル	「積極的支援」または「動機づけ支援」
1002	行動変容ステージ	「意志なし」「意志あり(6か月以内)」「意志あり(近いうち)」「取組済み(6ヶ月未満)」「取組済み(6ヶ月以上)」

表 17 指導共通情報セクション説明ブロック XML 仕様

XML-No	XPath	説明	多重度	選択性
11.6	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/text		1..1	M
11.6.1	list	説明ブロック 項目リスト	0..1	O
11.6.2	list/item	項目	1..2	M
11.6.2.1	text()	項目名と項目内容を表すテキスト。書式は「項目名 値（表示用テキスト）」（項目名と値の間の空白は半角スペース）	1..1	M

text 記述する例

```
<section>
  <code code="90010" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010"
  displayName="指導共通情報セクション" />
  <text>
    <list>
      <item>支援レベル 積極的支援</item>
      <item>行動変容ステージ 意志あり(6か月以内)</item>
    </list>
  </text>
  ...
</section>
```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 2.0
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2012.10.10

3.3.2.3 エントリ部仕様

指導共通情報セクションに含まれる項目は2つであり、次の表 18 で指定される保健指導項目コード、XML用データ型、OIDの組み合わせを使用してXMLデータを作成する。

※保健指導機関から保険者が受領するファイルには、「保健指導コース名」（項目コード 1020000003）が付与されている場合があるので、これを削除すること。

表 18 指導共通情報セクションにおける保健指導項目コード

番号	項目名	項目コード OID= 1.2.392.200119.6.1006	XML デー タ型	CDデータ型の場合のコー ド表の OID	とりうる値など
1001	支援レベル	1020000001	CD	1.2.392.200119.6.3001	1 または 2
1002	行動変容ステー ジ	1020000002	CD	1.2.392.200119.6.3002	1 から 5

指導共通情報セクションの XML 仕様を表 19 に示す。

表 19 指導共通情報セクションの XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.7	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/entry		1..1	M
11.8	act	実施情報または計画情報	1..1	M
11.8.1	@classCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActClass から、意図して実施される行為を示す「ACT」を設定。	1..1	M
11.8.2	@moodCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActMood から、実施結果を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.9	act/code	act ブロックのコード	1..1	M
11.9.1	@nullFlavor	「NA」を設定。「NI」でないことに注意。	1..1	M

上記に引き続き、以下の entryRelationship ブロックを表 18 の 1~2 項目分だけ繰り返す。報告しない項目の entryRelationship ブロックは出現しない。

No	XPath	説明	多重度	選択性
	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/entry/act/		1..1	M
11.10	entryRelationship	保健指導実施項目の 1 項目分のブロック情報	1..2	M
11.10.1	@typeCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActRelationship より一連グループを構成する個々の結果を表現するために、「COMP」を設定。	1..1	M
11.11	entryRelationship/observation	個々の実施項目情報	1..1	M
11.11.1	@classCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActClass から、観察行為を示す「OBS」を設定。	1..1	M
11.11.2	@moodCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActMood から、結果情報を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.12	entryRelationship/observation/code	保健指導項目コード情報	1..1	M
11.12.1	@code	保健指導項目コード 表 18 の項目コードを設定。	1..1	M
11.12.2	@codeSystem	保健指導項目コード OID。 「1.2.392.200119.6.1006」を記述するか、または属性自体を省略する。	0..1	O
11.12.3	@displayName	保健指導項目名。または属性自体を省略する。	0..1	O
11.13	entryRelationship/observation/value	保健指導情報項目の値	1..1	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 2.0
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2012.10.10

11.13.1	@xsi:type	表 18 の XML 用データ型を設定。 コード型なので「CD」を設定	1..1	M
11.13.5	@code	報告すべき結果コード値を設定。	1..1	M
11.13.6	@codeSystem	表 18 の「CDデータ型の場合のコード表の OID」 の値を設定。	1..1	M

指導共通情報セクションのXMLサンプルを以下に示す。

```

<component>
  <section>
    <code code="90010" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010" displayName="指導共通情報セクショ
ン"/>
    <text>
      <list>
        <item>支援レベル 積極的支援</item>
        <item>行動変容ステージ 意志あり(6か月以内)</item>
      </list>
    </text>
    <entry>
      <act classCode="ACT" moodCode="EVN">
        <code nullFlavor="NA"/>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 支援レベル -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <code code="1020000001"/>
            <value xsi:type="CD" code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.3001"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 行動変容ステージ（初回面接時） -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <code code="1020000002"/>
            <value xsi:type="CD" code="2" codeSystem="1.2.392.200119.6.3002"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
      </act>
    </entry>
  </section>
</component>

```

3.3.3 指導初回情報セクション

3.3.3.1 セクション部仕様

※ 本セクションは常に存在する。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 2.0
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2012.10.10

指導初回情報セクションは、初回面接実施時の情報として、表 20 の項目情報が表現される。人が解釈するための説明ブロックは text 要素として存在するが値を持たない。entry 要素を含む。セクションコードには CDA セクションコードのうち「90030」を指定する。

表 20 指導初回情報セクションで表現される保健指導項目

entry 名	番号	項目コード	項目名
初回面接 実施情報	1004	1022000011	初回面接の実施日付
	1005	1022000012	初回面接による支援の支援形態
	1006	1022000013	初回面接の実施時間
	1007	1022000015	初回面接の実施者
保健指導 計画情報	1008	1021000020	継続的支援予定期間 (積極的支援時のみ必要)

指導共通情報セクションの XML 仕様を表 21 に示す。

表 21 指導初回情報セクション XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.3	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section		1..1	M
11.4	code	指導初回情報データ CDA セクションコード。	1..1	M
11.4.1	@code	セクションコード「90030」を設定。	1..1	M
11.4.2	@codeSystem	セクションコードのコード体系を示す OID。 「1.2.392.200119.6.1010」を設定。	1..1	M
11.4.3	@displayName	セクションコードの表示名。「指導初回情報セクション」を設定。	0..1	O
11.6	text	セクションのテキスト記述。	1..1	M
11.6.1	text()	存在しない。	1..1	M
11.7	entry[1]	初回面接実施情報を格納する entry	1..1	M
11.7(繰り返し)	entry[2]	保健指導計画情報を格納する entry 積極的支援の場合だけ出現する。	0..1	O

指導共通情報セクションの XML サンプルを以下に示す。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 2.0
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2012.10.10

```

<section>
  <code code="90030" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010"
    displayName="指導初回情報セクション"/>
  <text />

  <!-- 初回面接実施情報-->
  <entry>
    ...
  </entry>

  <!-- 保健指導計画情報-->
  <entry>
    ...
  </entry>
</section>

```

3.3.3.2 初回面接実施情報エントリ仕様

指導初回情報セクションに含まれるエントリは初回面接実施情報エントリと保健指導計画情報エントリの2つである。動機付け支援では、初回面接実施情報エントリだけからなる。

初回面接実施情報エントリのXML仕様を表22に示す。

表22 初回面接実施情報エントリのXML仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.7	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/entry		1..1	M
11.8	act	実施情報または計画情報	1..1	M
11.8.1	@classCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActClass から、意図して実施される行為を示す「ACT」を設定。	1..1	M
11.8.2	@moodCode	HL7 ポキャブラリドメイン AntMood から、実施結果を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.9	act/code	初回面接の支援形態	1..1	M
11.9.1	@code	初回面接の支援形態(項目番号 1005)のコード値	1..1	M
11.9.2	@codeSystem	初回面接時の支援形態のOID 1.2.392.200119.6.3003	1..1	M
11.14	act/effectiveTime	実施日付情報	1..1	M
11.14.1	@value	初回面接の実施日(項目番号 1004)の値 YYYYMMDD	1..1	M
11.15	act/performer	初回面接を実施した人に関する情報	1..1	M
11.16	act/performer/assignedEntity	初回面接を実施した者	1..1	M
11.16.1	id/@nullFlavor	「NI」を設定。「NA」でないことに注意。	1..1	M
11.16.2	code/@code	実施者(項目番号 1007)のコード(医師=1など)	1..1	M
11.16.3	code/@codeSystem	実施者コードのOID 1.2.392.200119.6.3020	1..1	M
11.10	act/entryRelationship	保健指導実施項目の1項目分のブロック情報	1..1	M
11.10.1	@typeCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActRelationship より一連グループを構成する個々の結果を表現するために、「COMP」を設定。	1..1	M
11.11	act/entryRelationship/ob	個々の項目情報	1..1	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 2.0
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2012.10.10

	servation			
11.11.1	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActClass から、観察行為を示す「OBS」を設定。	1..1	M
11.11.2	@moodCode	HL7 ボキャブラリドメイン AntMood から、結果情報を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.12	act/entryRelationship/ob servation/code	保健指導項目コード情報	1..1	M
11.12.1	@code	保健指導項目コードを設定する。 ここでは、初回面接実施時間の項目コード「1022000013」を設定。	1..1	M
11.12.2	@codeSystem	保健指導項目コード OID。 デフォルト値=1.2.392.200119.6.1006 の場合には省略する。	0..1	O
11.17	act/entryRelationship/ob servation/effectiveTime	保健指導の実施時刻および時間に関する情報	1..1	M
11.18	act/entryRelationship/ob servation/effectiveTime/ width	保健指導の実施時間に関する情報	1..1	M
11.18.1	@value	保健指導の実施時間(長さ)	1..1	M
11.18.2	@unit	上記の時間の単位。分の場合には「min」を設定する。	1..1	M

以上の仕様にもとづき、初回面接実施情報のエントリのサンプルを以下に示す。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 2.0
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2012.10.10

```

<component>
  <section>
    <code code="90030" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010" displayName="指導初回情報セクシ
    ヨン"/>
    <text/>
    <entry>
      <!-- 初回面接実施情報 -->
      <act classCode="ACT" moodCode="EVN">
        <!-- 初回面接の支援形態:1=個別支援 (項目コード:1022000012) -->
        <code code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.3003"/>
        <!-- 初回面接の実施日付 (項目コード:1022000011) -->
        <effectiveTime value="20070720"/>
        <performer>
          <assignedEntity>
            <id nullFlavor="NI"/>
            <!-- 初回面接の実施者のコード:1=医師 (項目コード:1022000015) -->
            <code code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.3020"/>
          </assignedEntity>
        </performer>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <!-- 初回面接の実施時間(項目コード:1022000013) -->
            <code code="1022000013"/>
            <effectiveTime>
              <width value="30" unit="min"/>
            </effectiveTime>
          </observation>
        </entryRelationship>
      </act>
    </entry>
  :
  </section>
</component>

```

3.3.3.3 保健指導計画情報エントリ仕様

指導初回情報セクションに含まれるエントリの2つめは保健指導計画情報エントリである。このエントリは積極的支援の場合にだけ出現し、積極的支援の場合には必須である。

保健指導計画情報エントリのXML仕様を表23に示す（行Noは再掲）。

表 23 保健指導計画情報エントリのXML仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.7	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/entry		0..1	O
11.8	act	保険指導計画情報	1..1	M
11.8.1	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActClass から、意図して実施される行為を示す「ACT」を設定。	1..1	M
11.8.2	@moodCode	HL7 ボキャブラリドメイン AntMood から、計画を示す「INT」	1..1	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 2.0
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2012.10.10

		を設定。本エントリが計画情報であるという理由による。		
11.9	act/code	保健指導計画のアクトブロック	1..1	M
11.9.1	@nullFlavor	「NA」を設定。「NI」でないことに注意。	1..1	M

上記につづいて、保健指導計画に関する項目（表 20：番号 100）の 1 項目について下記の表 23-1（行 No は再掲）の act/entryRelationship により記述する。

表 23-1 保健指導計画情報エントリの XML 仕様（つづき）

11.10	act/entryRelationship	保健指導実施項目の 1 項目分のブロック情報	1..1	M
11.10.1	@typeCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActRelationship より一連グループを構成する個々の結果を表現するために、「COMP」を設定。	1..1	M
11.11	act/entryRelationship/observation	個々の項目情報	1..1	M
11.11.1	@classCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActClass から、観察行為を示す「OBS」を設定。	1..1	M
11.11.2	@moodCode	HL7 ポキャブラリドメイン AntMood から、計画を示す「INT」を設定。	1..1	M
11.12	act/entryRelationship/observation/code	保健指導項目コード情報	1..1	M
11.12.1	@code	保健指導項目コード	1..1	M
11.12.2	@codeSystem	保健指導項目コード OID 「1.2.392.200119.6.1006」を設定するか、または属性自体を省略する。	0..1	O
11.13	act/entryRelationship/observation/value	保健指導項目の値	1..1	M
11.13.1	@xs:type	保健指導項目表 (XML用) の XML 用データ型を設定。 「継続的支援予定期間」は数値 (PQ) 型であるため、「PQ」を設定する。	1..1	M
11.13.5	@code	「継続的支援予定期間」は数値 (PQ) 型であるため本属性は出現しない	0	X
11.13.6	@codeSystem	「継続的支援予定期間」は数値 (PQ) 型であるため本属性は出現しない	0	X
11.13.7	text()	「継続的支援予定期間」は数値 (PQ) 型であるため本値は出現しない	0	X
11.13.2	@valule	数値を設定。	1..1	M
11.13.3	@unit	単位の記述を必要とする場合に出現し、保健指導項目表 (XML用) の XML 用単位文字列を設定。 「継続的支援予定期間」では、週をあらわす「wk」を設定。	1..1	M

以上の仕様にもとづき、保健指導計画情報のエントリのサンプルを以下に示す。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 2.0
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2012.10.10

```

<component>
  <section>
    <code code="90030" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010" displayName="指導初回情報セクション"/>
    <text/>
    <entry>
      <!-- 初回面接実施情報 -->
      :
    </entry>
    <entry>
      <!-- 保健指導計画情報 -->
      <act classCode="ACT" moodCode="INT">
        <code nullFlavor="NA"/>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 継続的支援予定期間 -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="INT">
            <code code="1021000020"/>
            <value xsi:type="PQ" value="6" unit="wk"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
      </act>
    </entry>
  </section>
</component>

```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 2.0
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2012.10.10

3.3.4 指導集計情報セクション

3.3.4.1 セクション部仕様

- ※ 動機付け支援では本セクションは出現しない。
- ※ 積極的支援では必ず出現する。
- ※ 保健指導機関から保険者が受領するファイルの当該セクションのまま加工は不要である。
- ※ 実施していない形態については、出現させなくても良い。
- ※ 平成 25 年度より、支援 B の実施が必須では無くなっているので注意のこと。[k8]

指導集計情報セクションは、計画段階での集計的な情報および実績報告時の集計的な情報をそれぞれ異なるエントリで記述する。

積極的支援では、本セクションが必ず出現し、計画上の集計情報に関するエントリと**実施上の集計情報のエントリの2つが必ず出現する。**

各エントリの説明ブロックは text 要素として存在するが値を持たない。本セクションコードには CDA セクションコードのうち「90070」を指定する。

表 24 指導集計情報セクションで表現される保健指導の報告項目

entry 名	番号	項目コード	項目名
計画上の集計情報	1079	1041800117	計画上の継続的な支援の実施回数
	1080	1041101117	同上の実施回数(個別支援 A)
	1081	1041101113	同上の合計実施時間(個別支援 A)
	1082	1041201117	同上の実施回数(個別支援 B)
	1083	1041201113	同上の合計実施時間(個別支援 B)
	1084	1041302117	同上の実施回数(グループ支援)
	1085	1041302113	同上の合計実施時間(グループ支援)
	1086	1041103117	同上の実施回数(電話 A による支援)
	1087	1041103113	同上の合計実施時間(電話 A による支援)
	1088	1041104117	同上の実施回数(e-mailA による支援)
	1089	1041203117	同上の実施回数(電話 B による支援)
	1090	1041203113	同上の合計実施時間(電話 B による支援)
	1091	1041204117	同上の実施回数(e-mailB による支援)
	1092	1041100114	同上のポイント(支援 A)
1093	1041200114	同上のポイント(支援 B)	
1094	1041800114	同上のポイント(合計)	
実施上の集計情報	1095	1042800117	実施上の継続的な支援の実施回数
	1096	1042101117	同上の実施回数(個別支援 A)
	1097	1042101113	同上の合計実施時間(個別支援 A)
	1098	1042201117	同上の実施回数(個別支援 B)
	1099	1042201113	同上の合計実施時間(個別支援 B)
	1100	1042302117	同上の実施回数(グループ支援)
	1101	1042302113	同上の合計実施時間(グループ支援)
	1102	1042103117	同上の実施回数(電話 A による支援)
	1103	1042103113	同上の合計実施時間(電話 A による支援)

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 2.0
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2012.10.10

1104	1042104117	同上の実施回数(e-mailAによる支援)
1105	1042203117	同上の実施回数(電話Bによる支援)
1106	1042203113	同上の合計実施時間(電話Bによる支援)
1107	1042204117	同上の実施回数(e-mailBによる支援)
1108	1042100114	同上のポイント(支援A)
1109	1042200114	同上のポイント(支援B)
1110	1042800114	同上のポイント(合計)
1111	1042800118	禁煙指導の実施回数
1112	1042000022	実施上の継続的な支援の終了日

指導共通情報セクションのXML仕様を表25に示す。

表 25 指導集計情報セクション XML仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.3	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section		0..1	O
11.4	code	CDA セクションコード。	1..1	M
11.4.1	@code	セクションコード「90070」を設定。	1..1	M
11.4.2	@codeSystem	セクションコードのコード体系を示す OID。「1.2.392.200119.6.1010」を設定。	1..1	M
11.4.3	@displayName	セクションコードの表示名。「指導集計情報セクション」を設定。	0..1	O
11.6	text	セクションのテキスト記述。	1..1	M
11.6.1	text()	値が存在しない	0	X
11.7	entry[1]	計画段階の集計情報を格納する entry	1..1	M
11.7(繰り返し)	entry[2]	実施上の集計情報を格納する entry	1..1	M

指導集計情報セクションのXMLサンプルを以下に示す。

```

<section>
  <code code="90070" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010"
    displayName="指導集計情報セクション"/>
  <text />

  <!-- 計画上の集計情報-->
  <entry>
    ...
  </entry>

  <!-- 実施上の集計情報-->
  <entry>
    ...
  </entry>
</section>

```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 2.0
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2012.10.10

3.3.4.2 計画上の集計情報エントリおよび実施上の集計情報エントリの仕様

計画上の集計情報エントリと実施上の（実施済みの）集計情報エントリの両方を格納する。両者の基本構造は同一であり、異なる点は1）格納すべき報告項目が表 24 のように 2 項目多いこと、2）計画と実施のエントリの区別が表 26 の XML 仕様 No.11.8.2 で示される moodCode、および同表 XML 仕様 No.11.14.2 で示される moodCode が、計画上の集計情報の場合には計画を意味する「INT」であるのに対して、実施上の集計情報の場合には結果を意味する「EVN」となることにより記述されることである。

以下の説明ではこのエントリに格納される報告項目の種類に対応して格納の仕方が変わることがあるため、必要に応じて別に提供される保健指導項目表（XML 用）を参照すること。

集計情報エントリの XML 仕様を表 26 に示す（行 No は再掲）。

表 26 集計情報エントリの XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.7	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/entry		2..2	M
11.8	act	実施情報または計画情報	1..1	M
11.8.1	@classCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActClass から、意図して実施される行為を示す「ACT」を設定。	1..1	M
11.8.2	@moodCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActMood から、 計画上の集計情報の場合には計画を示す「INT」を設定。 実施上の集計情報の場合には結果を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.9	act/code	アクトブロック	1..1	M
11.9.1	@nullFlavor	「NA」を設定。「NI」でないことに注意。	1..1	M

上記につづいて、集計情報に関する報告項目（表 24）について下記の表 26-1（行 No は再掲）の act/entryRelationship の繰り返しで記述する。

なお表 26-1 において赤字で記載するように、個々の項目によって設定する値は異なり、具体的な設定すべき値は別に <http://www.mhlw.go.jp/bunya/shakaihoshou/iryouseido01/info02a.html> から提供される保健指導項目表（XML 用）を参照する必要がある。

表 26-1 集計情報エントリの XML 仕様（つづき）

11.10	act/entryRelationship	保健指導情報項目の 1 項目分のブロック情報	1..18	M
11.10.1	@typeCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActRelationship より一連グループを構成する個々の結果を表現するために、「COMP」を設定。	1..1	M
11.11	act/entryRelationship/observation	個々の項目情報	1..1	M
11.11.1	@classCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActClass から、観察行為を示す「OBS」を設定。	1..1	M
11.11.2	@moodCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActMood から、 計画上の集計情報の場合には計画を示す「INT」を設定。 実施上の集計情報の場合には結果を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.12	act/entryRelationship/ob	保健指導情報項目コード情報	1..1	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 2.0
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2012.10.10

	servation/code			
11.12.1	@code	保健指導項目コード	1..1	M
11.12.2	@codeSystem	保健指導項目コード OID 「1.2.392.200119.6.1006」を設定するか、または属性自体を省略する。	0..1	O
11.13	act/entryRelationship/ob servation/value	保健指導情報項目の値	1..1	M
11.13.1	@xsi:type	保健指導項目表(XML用)のXML用データ型を設定。 回数値の場合:「INT」 時間値または数値の場合:「PQ」 支援の終了日は、文字列型「ST」とする。	1..1	M
11.13.5	@code	属性が出現しない	0	X
11.13.6	@codeSystem	属性が出現しない	0	X
11.13.7	text()	文字列型「ST」の場合に出現し、文字列値を設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	O
11.13.2	@value	数値型「PQ」または整数型「INT」の場合に出現し、数値を設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	O
11.13.3	@unit	数値型「PQ」の場合で単位の記述を必要とする場合に出現し、 保健指導項目表(XML用)のXML用単位文字列を設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	O

以上の仕様にもとづき、保健指導計画情報のエントリのサンプルを以下に示す。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 2.0
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2012.10.10

```

<component>
  <section>
    <code code="90070" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010" displayName="指導集計情報セクシ
    ヨン"/>
    <text/>
    <entry>
      <!-- 計画段階の集計情報 -->
      <act classCode="ACT" moodCode="INT">
        <code nullFlavor="NA"/>
        <!--act/codeを設定-->
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 計画上の継続的な支援の実施回数 5回 -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="INT">
            <code code="1041800117"/>
            <value xsi:type="INT" value="5"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 計画上の継続的な支援の実施回数（個別支援A） -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="INT">
            <code code="1041101117"/>
            <value xsi:type="INT" value="1"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 計画上の継続的な支援の合計実施時間（個別支援A） -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="INT">
            <code code="1041101113"/>
            <value xsi:type="PQ" value="10" unit="min"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 計画上の継続的な支援の実施回数（個別支援B） -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="INT">
            <code code="1041201117"/>
            <value xsi:type="INT" value="1"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 計画上の継続的な支援の合計実施時間（個別支援B） -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="INT">
            <code code="1041201113"/>
            <value xsi:type="PQ" value="10" unit="min"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
      </act>
    </entry>
    :
    次ページのサンプルに続く
  
```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 2.0
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2012.10.10

前記サンプルに続く、実施結果の集計情報セクションのサンプルの抜粋は以下のとおりである。実施上の継続的な支援の終了日も他のデータ項目と同様にvalue要素で記述する。

```

:
<entry>
  <!-- 実施上の集計情報 -->
  <act classCode="ACT" moodCode="EVN">
    <code nullFlavor="NA" />
    <entryRelationship typeCode="COMP">
      <!-- 実施上の継続的な支援の実施回数 7回 -->
      <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
        <code code="1042800117" />
        <value xsi:type="INT" value="7" />
      </observation>
    </entryRelationship>
    <entryRelationship typeCode="COMP">
      <!-- 実施上の継続的な支援の実施回数（個別支援A） 1回 -->
      <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
        <code code="1042101117" />
        <value xsi:type="INT" value="1" />
      </observation>
    </entryRelationship>
  </act>
  :
  <entryRelationship typeCode="COMP">
    <!-- 禁煙の指導回数 1回 -->
    <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
      <code code="1042800118" />
      <value xsi:type="INT" value="1" />
    </observation>
  </entryRelationship>
  <entryRelationship typeCode="COMP">
    <!-- 実施上の継続的な支援の終了日 -->
    <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
      <code code="1042000022" />
      <value xsi:type="ST">20080120</value>
    </observation>
  </entryRelationship>
</entry>
</section>
</component>

```

3.3.5 委託先情報セクション

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 2.0
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2012.10.10

3.3.5.1 セクション部仕様

※ 本セクションは、保険者が保健指導機関から受領する保健指導情報ファイルでの仕様には存在しない。保健指導情報ファイル中の継続支援情報セクション、中間評価セクション、最終評価セクションから保険者側で生成する。

※ 動機付け支援では存在しない。

※ 積極的支援で、1回でも継続支援を委託した場合に必ず存在する。

委託先情報[m9]セクションでは、支援Aまたは支援Bのいずれか（中間評価を実施した支援も含む）1回以上が、本保健指導情報ファイルの「特定保健指導機関」（3.2.3.5 保健指導実施情報の節で記述される実施機関）とは異なる保健指導機関へ部分的に委託（あるいは再委託）されて実施された場合に、その委託先に関する情報と支援形態（主対応内容）を、ひとつの委託先機関について一つの委託先情報エントリで記述する。

ひとつの委託先機関が、複数の異なる支援形態（1：個別支援、2：グループ支援、3：電話、4：電子メール支援）を実施した場合は、この支援形態コードが最も小さい（若い）支援形態を主たる支援形態として採用することとし、その他の支援形態は格納しない。

たとえば、委託先機関Aが1：個別支援、2：グループ支援の両方を実施した場合には、委託先機関は「委託先機関A」、支援形態（主対応内容）は「1：個別支援」とみなして記述する。

異なる複数の委託先により継続的な支援（中間評価を実施した継続的な支援を含む）が実施された場合には、異なる委託先の数だけ委託先情報エントリが繰り返される。

繰り返しの最大回数は4とする。もし5箇所以上の委託先がある場合には、主たる支援形態のコードが小さい（若い）順に4個までを記述する。

ひとつの委託先情報エントリには表 27 の項目情報が表現される。

継続支援（中間評価を実施した継続支援を含む）をすべて、委託によらず本保健指導情報ファイルの「特定保健指導機関」に記述される保健指導機関が自ら実施した場合には、本セクションは出現しない。

本セクション内の人が解釈するための説明ブロックは text 要素として存在するが値を持たない。セクションコードには CDA セクションコードのうち「90080」を指定する。

表 27 委託先情報セクションで表現される保健指導項目

entry 名	項目表番号	項目名
委託先情報	1115	主対応内容
	1113	委託先保健指導機関番号
	1114	委託先保健指導機関名

委託先情報セクションの XML 仕様を表 28 に示す。

表 28 委託先情報セクション XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.3	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section		0..1	O
11.4	code	委託先情報 CDA セクションコード。	1..1	M
11.4.1	@code	セクションコード「90080」を設定。	1..1	M
11.4.2	@codeSystem	セクションコードのコード体系を示す OID。「1.2.392.200119.6.1010」を設定。	1..1	M
11.4.3	@displayName	セクションコードの表示名。「委託先情報セクション」を設	0..1	O

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 2.0
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2012.10.10

		定。		
11.6	text	セクションのテキスト記述。	1..1	M
11.6.1	text()	値が存在しない	0	X
11.7	entry[1..]	委託により実施された継続支援(中間評価を含む)実施情報を格納する委託先情報エントリ	1..*	M

委託先情報セクションの XML サンプルを以下に示す。

```

<section>
  <code code="90080" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010"
    displayName="委託先情報セクション"/>
  <text />

  <!--委託先情報の記述 -->
  <entry>
    ...
  </entry>
  :くりかえし
  <!--委託先情報の記述 -->
  <entry>
    ...
  </entry>
  :くりかえし
</section>

```

3.3.5.2 委託先情報エントリ仕様

委託先情報セクションに含まれる委託先情報エントリは、異なる委託先機関ごとに1個出現する。同一の委託先機関の委託先情報エントリが複数出現してはならない。

同エントリの XML 仕様を表 29 (XML 仕様 NO は一部再掲) に示す。

表 29 委託先情報エントリの XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.7	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/entry		0..*	O
11.8	act	委託先での実施情報	1..1	M
11.8.1	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActClass から、意図して実施される行為を示す「ACT」を設定。	1..1	M
11.8.2	@moodCode	HL7 ボキャブラリドメイン AntMood から、実施結果を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.9	act/code	支援形態	1..1	M
11.9.1	@code	支援形態のコード値 1: 個別支援、2: グループ支援、3: 電話、4: 電子メール支援 ※保健指導機関から受領するファイル中のコードとは異なるので注意すること。	1..1	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 2.0
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2012.10.10

11.9.2	@codeSystem	委託先対応内容区分のOID 1.2.392.200119.6.3006 ※保健指導機関から受領するファイル中のコードとは異なるので注意すること。	1..1	M
11.14	act/effectiveTime	支援の実施日 要素が出現しない	0	X
11.15	act/performer	支援を実施した人に関する情報	1..1	M
11.16	act/performer/assignedEntity	支援実施者	1..1	M
11.16.1	id/@nullFlavor	「NI」を設定。「NA」ではない。	1..1	M
11.16.2	code/@code	属性が出現しない	0	X
11.16.3	code/@codeSystem	属性が出現しない	0	X
11.19	act/performer/assignedEntity/representedOrganization	支援委託先情報(委託してこの支援を実施した場合にのみ記述する)	1..1	M
11.19.1	id/@extension	委託先機関番号 委託先機関番号がない場合には 属性 extension は出現しない。	0..1	O
11.19.2	id/@root	OID「1.2.392.200119.6.102」 委託先機関番号がない場合には 属性 root は出現しない。	0..1	O
11.19.3	id/@nullFlavor	委託先機関番号がない場合にのみ 属性 nullFlavor が出現し、属性値として「NI」を設定。「NA」ではない。	0..1	O
11.19.4	name/text()	指導委託先機関の名称	1..1	M
11.10	act/entryRelationship	保健指導実施項目の1項目分のブロック情報 要素が出現しない	0	X

以上の仕様にもとづき、の委託先情報エントリのサンプルを以下に示す。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 2.0
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2012.10.10

```

<entry>
  <!-- 委託先情報（委託先1） -->
  <act classCode="ACT" moodCode="EVN">
    <!-- 主対応内容コード：グループ支援 -->
    <code code="2" codeSystem="1.2.392.200119.6.3006"/>
    <performer>
      <assignedEntity>
        <id nullFlavor="NI"/>
        <representedOrganization>
          <!-- 委託先機関番号 -->
          <id extension="1122334455" root="1.2.392.200119.6.102"/>
          <!-- 委託先名称 -->
          <name>東京保健指導センターA</name>
        </representedOrganization>
      </assignedEntity>
    </performer>
  </act>
</entry>
<entry>
  <!-- 委託先情報（委託先2） -->
  <act classCode="ACT" moodCode="EVN">
    <!-- 主対応内容コード：電話 -->
    <code code="3" codeSystem="1.2.392.200119.6.3006"/>
    <performer>
      <assignedEntity>
        <id nullFlavor="NI"/>
        <representedOrganization>
          <!-- 委託先機関番号はない -->
          <id nullFlavor="NI"/>
          <!-- 委託先名称 -->
          <name>神宮保健指導センターB</name>
        </representedOrganization>
      </assignedEntity>
    </performer>
  </act>
</entry>

```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 2.0
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2012.10.10

3.3.6 最終評価情報セクション

3.3.6.1 セクション部仕様

- ※本仕様では中間評価情報セクションは存在しない。
- ※動機付け支援では存在しない。積極的支援では必須。
- ※ 保健指導機関から保険者が受領するファイルの当該セクションのまま加工は不要である。

最終評価情報セクションは、ある時点である実施形態により、6ヵ月後の評価を実施（または実施しようとした）情報を格納するものであり、ひとつのエントリで構成される。ひとつのエントリには表 30 の項目情報が表現される。本セクション内の人が解釈するための説明ブロックは text 要素として存在するが値を持たない。セクションコードには CDA セクションコードのうち、最終評価情報セクション「90060」を指定する。

表 30 最終評価情報セクションで表現される保健指導項目

entry 名	番号	項目コード	項目名
最終(6ヶ月)評価情報	1068	使用しない	6 か月後の評価の実施日付
	1069	使用しない	6 か月後の評価の支援形態又は確認方法
	1070	使用しない	6 か月後の評価の実施者
	1071	1042000116	6 か月後の評価ができない場合の確認回数
	1072	1042001031	6 か月後の評価時の腹囲
	1073	1042001032	6 か月後の評価時の体重
	1074	1042001033	6 か月後の評価時の収縮期血圧
	1075	1042001034	6 か月後の評価時の拡張期血圧
	1076	1042001042	6 か月後の評価時の保健指導による生活習慣の改善(栄養・食生活)
	1077	1042001041	6 か月後の評価時の保健指導による生活習慣の改善(身体活動)
	1078	1042001043	6 か月後の評価時の保健指導による生活習慣の改善(喫煙)

最終評価情報セクションの XML 仕様を表 31 に示す。

表 31 最終評価情報セクション XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.3	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section		0..1	O
11.4	code	最終評価情報データ CDA セクションコード。	1..1	M
11.4.1	@code	最終評価情報セクションでは「90060」を設定。	1..1	M
11.4.2	@codeSystem	セクションコードのコード体系を示す OID。「1.2.392.200119.6.1010」を設定。	1..1	M
11.4.3	@displayName	セクションコードの表示名。「最終評価情報セクション」を設定。	0..1	O
11.6	text	セクションのテキスト記述。	1..1	M
11.6.1	text()	値が存在しない	0	X
11.7	entry	最終評価情報を格納する entry	1..1	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 2.0
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2012.10.10

最終評価情報セクションの XML サンプルを以下に示す。

```
<section>
  <code code="90060" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010"
    displayName="最終評価情報セクション"/>
  <text />

  <!-- 最終評価の記述-->
  <entry>
    ...
  </entry>
</section>
```

3.3.6.2 最終評価情報エントリ仕様

最終評価情報セクションに含まれるエントリは最終評価情報エントリの1個だけである。最終評価情報エントリの XML 仕様を表 32（XML 仕様 NO は一部再掲）に示す。

表 32 最終評価情報エントリの XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.7	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/entry		1..1	M
11.8	act	最終評価情報	1..1	M
11.8.1	@classCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActClass から、意図して実施される行為を示す「ACT」を設定。	1..1	M
11.8.2	@moodCode	HL7 ポキャブラリドメイン AntMood から、実施結果を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.9	act/code	6ヶ月後の評価の支援形態または確認方法	1..1	M
11.9.1	@code	表30の項目番号1069を格納する。 「1: 個別支援、2: グループ支援、3: 電話、4: 電子メール支援」のいずれかひとつのコード値を設定。	1..1	M
11.9.2	@codeSystem	OID「1.2.392.200119.6.3005」を設定する。	1..1	M
11.14	act/effectiveTime	6ヶ月後の評価実施日付情報	1..1	M
11.14.1	@value	6ヶ月後の評価実施日の値 YYYYMMDD	1..1	M
11.15	act/performer	6ヶ月後の評価の実施者に関する情報	1..1	M
11.16	act/performer/assignedEntity	6ヶ月後の評価の実施者	1..1	M
11.16.1	id/@nullFlavor	「NI」を設定。「NA」ではない。	1..1	M
11.16.2	code/@code	表30の項目番号1070を格納する。 6ヶ月後の評価の実施者のコード 「1: 医師、2: 保健師、3: 管理栄養士、4: その他」のいずれかひとつのコード値を設定。	1..1	M
11.16.3	code/@codeSystem	6ヶ月後の評価の実施者のコード のOID 1.2.392.200119.6.3020	1..1	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 2.0
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2012.10.10

11.19	act/performer/assignedEntity/representedOrganization	評価委託先情報(委託してこの評価を実施した場合に記述する) 本仕様では省略してもよい。	0..1	O
11.19.1	id/@extension	委託先機関番号	1..1	M
11.19.2	id/@root	OID「1.2.392.200119.6.102」	1..1	M
11.19.4	name/text()	委託先機関の名称	1..1	M

上記につづいて、6ヶ月後の評価情報に関する報告項目（表30）のうち番号1071～1078の8項目について下記の表32-1（行Noは再掲）のact/entryRelationshipの繰り返しにより記述する。表30のうち番号1068～1070の3項目については、表32の各要素等により格納されている。また、表30のうち番号1074, 1075, 1078の3項目は情報を入手した場合には格納することとなっている。

なお表32-1において赤字で記載するように、個々の項目によって設定する値は異なり、具体的な設定すべき値は別に<http://www.mhlw.go.jp/bunya/shakaihoshou/iryouseido01/info02a.html>から提供される保健指導項目表（XML用）を参照する必要がある。

表 32-1 評価情報エントリのXML仕様（つづき）

11.10	act/entryRelationship	評価情報項目の1項目分のブロック情報	5..8	M
11.10.1	@typeCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActRelationship より一連グループを構成する個々の結果を表現するために、「COMP」を設定。	1..1	M
11.11	act/entryRelationship/observation	個々の項目情報	1..1	M
11.11.1	@classCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActClass から、観察行為を示す「OBS」を設定。	1..1	M
11.11.2	@moodCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActMood から、結果を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.12	act/entryRelationship/observation/code	項目コード情報	1..1	M
11.12.1	@code	保健指導項目コード	1..1	M
11.12.2	@codeSystem	保健指導項目コード OID「1.2.392.200119.6.1006」を設定するか、または属性自体を省略する。	0..1	O
11.13	act/entryRelationship/observation/value	保健指導情報項目の値	1..1	M
11.13.1	@xsi:type	保健指導項目表(XML用)のXML用データ型を設定。 回数値の場合:「INT」 時間値または数値の場合:「PQ」	1..1	M
11.13.5	@code	コード型「CD」の場合に出現し、報告すべきコード値を設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	O
11.13.6	@codeSystem	コード型「CD」の場合に出現し、コード表のOID。保健指導項目表(XML用)のOIDを設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	O
11.13.2	@value	数値型「PQ」または整数型「INT」の場合に出現し、数値を設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	O
11.13.3	@unit	数値型「PQ」の場合で単位の記述を必要とする場合に出現	0..1	O

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 2.0
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2012.10.10

		し、保健指導項目表(XML用)の XML 用単位文字列を設定。 その他の型の場合には出現しない。		
--	--	---	--	--

以上の仕様にもとづき、最終評価情報のエントリのサンプルを以下に示す。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 2.0
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2012.10.10

```

<component>
  <section>
    <code code="90060" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010" displayName="最終評価情報セクション"/>
    <text />
    <!--最終評価-->
    <entry>
      <!-- 最終評価実施情報 -->
      <act classCode="ACT" moodCode="EVN">
        <!-- 6ヶ月後の評価の支援形態 -->
        <code code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.3004"/>
        <!-- 6ヶ月後の評価の実施日付：2007年10月20日 -->
        <effectiveTime value="20071020"/>
        <performer>
          <assignedEntity>
            <id nullFlavor="NI"/>
            <!-- 6ヶ月後の評価の実施者(項目コード:1032000015) -->
            <code code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.3020"/>
          </assignedEntity>
        </performer>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 6ヶ月後の評価時の腹囲 -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <code code="1032001031"/>
            <value xsi:type="PQ" value="80.0" unit="cm"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 6ヶ月後の評価時の体重 -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <code code="1032001032"/>
            <value xsi:type="PQ" value="77.0" unit="kg"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
        :
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 6ヶ月後の評価時の保健指導による生活習慣の改善 -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <code code="1032001041"/>
            <value xsi:type="CD" code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.3010"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
        :
      </act>
    </entry>
  </section>
</component>

```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 2.0
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2012.10.10

4. OID表

本文書中で記載されている各種コードのコード体系コード（OID）は、別表 OID 一覧表を参照すること。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 2.0
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2012.10.10

本説明文書は、H18年度厚生労働科学研究費補助金・循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業（生活習慣病）：疾病予防サービスの制度に関する研究班の分担研究班「健診データの整備に関する検討（分担研究者：大江和彦）」により作成されました。

また本説明文書が対象としている特定健診データの標準的電子データ規格は、上記の厚生労働科学研究班のメンバーのほか、下記の厚生労働省「標準的な健診・保健指導の在り方に関する検討会/健診分科会/電子的管理WG（座長：大江和彦）」、保健医療福祉情報システム工業会、日本HL7協会有志、およびここに記載していない多くの方々の献身的な貢献により検討された成果に基づいています。

標準的な健診・保健指導の在り方に関する検討会/健診分科会/電子的管理WG

大江和彦 東京大学大学院医学系研究科
 奥 真也 東京大学医学部
 窪寺 健 (株)NTTデータ
 小林祐一 HOYAグループ総括産業医
 酒巻哲夫 群馬大学医学部
 松田晋哉 産業医科大学
 吉田勝美 聖マリアンナ医科大学
 渡辺清明 国際医療福祉大学

保健医療福祉情報システム工業会・HL7協会

大島 義光 (株)日立製作所
 大林 正晴 (株)管理工学研究所
 香川 正幸 富士通(株)
 小西 由貴範 (株)ケーアイエス
 田中 教子 (株)ケーアイエス
 平井 正明 日本光電工業(株)
 橋本 大輔 (株)テクノロジックアート
 村上 英 東芝住電医療情報システムズ(株)

その他大学関係等

新田見 有紀 東京大学医学部附属病院
 星本 弘之 東京大学医学部附属病院
 山本 隆一 東京大学大学院情報学環

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 2.0
特定保健指導情報ファイル（支払基金への実績報告用）仕様説明書	2012.10.10

Ver2.0

本説明文書は、厚生労働省保険局総務課医療費適正化対策推進室により修正されました。また、下記、「第二期における特定健診・保健指導の円滑な実施に向けたシステム改修に係る特定健康診査・特定保健指導情報ファイル仕様説明書の修正作業班」のメンバーや、ここに記載していない多くの方々の献身的な貢献により検討された成果に基づいています。

特定健康診査・特定保健指導情報ファイル仕様説明書の修正作業班[m10]